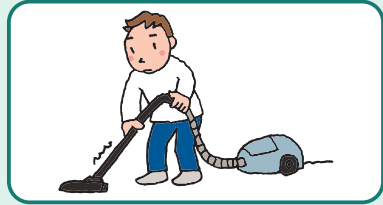


こんな子どもたちがヤングケアラーです

ヤングケアラーとは、さまざまな事情により、お手伝いの範囲を超えて家事や介護などを日常的に行う子どもたちのことです。例えば、次のようなことをしている子どもたちです。



掃除・洗濯・買い物・調理などの家事をしている



幼いきょうだいの世話をしている



障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている

他にも・・・

- 第一言語が日本語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている
- がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族を看病している
- アルコール・薬物・ギャンブルの問題を抱える家族に対応している

などが該当します

ヤングケアラーSOSの支援

サポーターが、原則2人で自宅を訪問。子ども1人ごとにワーキングチームを結成し、状況に合わせた支援を行います

利用時間 1日2時間、週2日まで

支援内容

- 掃除・洗濯・買い物・調理などの家事
- きょうだいの世話
- 高齢の家族や障害のある家族への介護（食事や排せつの介助や、衣類やシーツの交換など）

対象 家事や介護などを日常的に行っている中学生と高校生（要望があれば小学生も対象）

費用 無料



ヤングケアラー支援推進委員会委員長
新井 正昭さん

遠慮せずに相談してください。いつでも待っています

「高崎の子どもは高崎で守る」という強い信念で、ヤングケアラーの支援に取り組みます。支援推進委員会では、子ども一人一人の状況に合わせた支援を考えます。学校教育課では、困っている子どもがいれば、すぐに学校や家庭に出向ける体制を整えました。大切な子どもたちを一人でも多く手助けするため、協力しながらスピード感を持って対応していきます。

家事や家族の世話を頑張っている子どもたちへ

大変なことや困っていることがあったら、どんなことでも担任の先生や校長先生に伝えてください。学校教育課の職員が駆けつけます。秘密は必ず守るので、一人で悩まず気軽に相談してください。

子どもの家族や地域で暮らす皆さんへ

困ったときや、困っている家庭を知っているときは、地域の民生委員や学校へ知らせてください。子どもたちのために、ぜひ協力をお願いします。



子どもが子どもらしく暮らせるよう、サポートします



調理や片付け

衣類の洗濯

家族の介護

「高崎の子どもは高崎で守る」ために

家事などを行う子どもたちをヤングケアラーSOSでお手伝い

お手伝いの範囲を超えて、家事や家族の世話を日常的に行う子どもたち「ヤングケアラー」。市は、ヤングケアラーのいる家庭を支援するため、9月から「ヤングケアラーSOS」を開始します。子どもたちの負担を軽減する、全国初の取り組みです。問い合わせは、学校教育課（☎321-1170）へ。



市ホームページ

さまざまな事情により家事や介護、幼いきょうだいの世話などを日常的に行う子どもたち「ヤングケアラー」。健康や学業、友人関係などへの影響が指摘されています。市は、こうした子どもたちへの家庭を支援して負担を軽減するため、9月から「ヤングケアラーSOS」を開始します。

サポーター2人を無料で派遣 家事や介護を手助けします

サービスの対象は、市内に在任の中学生と高校生です。要望があれば、小学生も対象になります。子ども1人ごとに、子どもやその家族を支援する機関の担当者らによるワーキングチームを結成。一人一人の状況に合わせた支援を行います。

支援内容は、掃除・洗濯・調理などの家事や、きょうだいの世話、家族の介護です。サポーターが原則2人で自宅を訪問。費用は無料で、1日2時間、週2日までの支援ができます。

利用についての相談は、学校教育課で随時受け付けています。Eメール（yc1170@city.takasaki.gunma.jp）でも相談できます。